

成果報告書

担当者：由比 進、渡邊 学、阿部 岳、田口芳彦、中西 啓、九翟里美

講座名：第2回 大学農場で体験する食と農と生物学

実施日：令和3年7月29日

受講者数：29名

定員数：20名

受講料：無料

目的

農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター滝沢農場のもつ豊かな教育研究資源を地域社会に開放し、フィールド実習教育の体験を通し、生きるために欠くことのできない食と、それを支える農に対する理解を深める場を提供する。農業、農学、生物学に興味のある高校生と保護者が、滝沢農場で夏季の農作物栽培管理を体験する。これにより、参加者が食と農と生物学に関する理解を深め、また、高等学校で学習している教科（特に生物）と農業との関わりを知る機会となる。日常の高等学校での学習の動機づけだけでなく、岩手大学農学部への入学希望者の増加も期待できる。

活動実績

9:30 受付（担当：九翟）

10:00 自己紹介（担当：由比、渡邊）

10:10 農場内の見学、クッキングトマト、エダマメ、ブルーベリーの収穫体験
（担当：由比、渡邊、中西、阿部）

11:50 昼食

12:20 農場学生による研究紹介（担当：学部4年 須藤 健、豊田春喜、横地滯大）

12:40 野菜の講義（担当：由比）と果樹の講義（担当：渡邊）

13:40 ブルーベリージャム作り（担当：田口、由比、渡邊）

14:45 アンケート（担当：由比、渡邊）

15:00 終了

申込者が多く、定員を29名に増やして実施した。終了後のアンケート（大変満足～大変不満の5択）では、全員が「大変満足」を選択していた。農業や大学農場に興味があった生徒はもちろん、特に興味はなく友人に誘われたため参加したという生徒からもよい反応があり、岩手大学農学部への進学を希望する生徒の増加に、いくらかでも貢献できる手応えを感じた。

今後の課題

アンケートの回答から、公開講座の内容や難易度は適切であったと判断できる。今回の開催時期は、夏休みに入った直後で高校では夏期講習が行われることが多いため、他の時期の開催を希望する声が複数あった。なお、開催中に参加者の健康や熱中症については観察と注意喚起を欠かさなかったが、検温記録の提出依頼を失念していたので、次回は忘れずに実施したい。

